



### 鍵富清一郎 会長 ご逝去

昭和32年に就任以来、満三十年の長きにわたり、親しまれながら、青山同窓会長を務められた鍵富清一郎氏は、昭和62年4月30日ご逝去されました。5月1日自宅に於いてお通夜、5月2日真浄寺に於いて告別式が執り行われました。青山同窓会からは、ご供花、ご香資と、会を代表して鈴木正二副会長が弔辞を奉げられました。



発行所／青山同窓会  
〒951 新潟市関屋下川原町2-635  
新潟県立新潟高等学校内  
TEL025-266-2131  
編集、発行人／上村光司  
印刷所／オリオン印刷機  
〒950 新潟市南出来島1-19-1  
TEL025-283-2151  
FAX025-283-3804

## ごあいさつ

青山同窓会副会長 鈴木 木正二

総会の季節がやってまいりました。会員の皆様には、暑さに負けず、がんばって各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。いつもこの会報の巻頭でごあいさつ申し上げます。おられた鍵富会長が、今春天寿を全うされてお亡くなりになりました。故会長は同窓会、新潟高等学校を心から愛しその発展を希っておられました。この希いを後につづく私達もいつまでももちつづけたいものと思っております。ごあいさついたします。

## 弔辞

鍵富さん、お互いこの世に生を受けたものとして、いつか是のような日の来ることは承知してははずすはありますが、今この場に立って、心の中に大きな穴のあいだ思いを噛みしめています。

わが青山同窓会の今日の姿は、あなたが苗木から守り育ててこられたものであります。昭和三十三年六月あなたは故長谷川寛氏からこの青山同窓会の会長を引き継がれました。時あたかも母校は昭和二十九年の火災で焼失し、まさに再建の途上であります。

ようやく本館の主体部分ができたばかりで、あなたは新潟高等学校復興期成会の会長をも兼任なされ、母校再建の先頭に立って全精力を注ぎ込まれたものでした。

当時日本の経済力はまだまだ弱く、その中で予算の増額を果に働きかけたり、鉄材の入手が心もとないと聞けば、早速新日鉄の齋藤英四郎氏に談じ込んで調達なされ、また東京での募金行脚さえもなされました。是の復興への情熱と募金活動が今日の青山同窓会の組織的活力を作る基盤

となつたのであります。昭和三十七年、創立七十年記念事業として体育館が完成して校舎の復興は完了しました。さらに八十周年事業として青山会館が誕生し、九十年事業で第二体育館が竣工しました。その折り返りの会長の感謝の笑顔が今も目に残っております。そして昭和四十八年に任務を完了した復興期成会を解散して母校後援会長となられた時の感慨はいかばかりであったかと思うのであります。

一同で本復の早からん事をお祈りしてまいりましたが、一進一退のご闘病も甲斐ない事となりました。

鍵富さん、今こうしてお別れの言葉を述べなければならぬのは誠に残念です。しかしまた九十五年、まさに玲瓏として胸颯爽、堂々の大生涯であられた事に感服もいたして

新潟の名家に生れて財界で重きをなし、私利私欲のないお人柄は直言しようとすることなく、新潟商工会議所の副会頭に推され、乞われれば福祉事業団体の慈光会会長として尽力されました。

鍵富さんあなたの小柄な身体に、年々光を増してきたオツム、利かん気をどこかに置き忘れたような笑顔は同窓会のシンボルであるばかりでなく、母校の卒業式、入学式で「鍵富のおじいちゃん」として、若い後輩の親愛を集めておられました。

そのシンボルも一昨年の新年会以来総会等の会場にお姿を拝見できなくなりました。昭和五十九年十二月に脳梗塞の発作で倒られ、同窓生

と

## 新入生歓迎会開かる

東京青山同窓会

去る5月12日、夕六時より原宿駅前水交会（東郷神社境内）にて恒例の新入生歓迎会が開かれました。今春卒業した新入生が四十名ほど、新潟高校からは、昨年度三年生担任の永井先生、関先生が出席し、全体で約八十名の会員が集まりました。

南学会長、田中幹事長のおいさつ、齋藤英四郎氏の伝言紹介の後、懇親会に入りました。

同窓生あげてご冥福をお祈り申し上げます。安らかに眠り下さい。  
昭和六十二年五月二日  
新潟高等学校  
青山同窓会  
副会長 鈴木正二

## 後輩のためにと百万円

別記のとおり、鍵富清一郎氏は4月30日お亡くなりになりましたが、御遺族より、故人が最も愛し、又楽しませていただいた青山同窓会を通じ、新潟高等学校の発展の為に有効にお役立て下さいと、葬儀の香典がえしとして金百万円の御寄贈がありました。

# 新任 挨拶

学校長 宮地 正 樹

三十年の長きにわたり、青山同窓会長として、わが新潟高等学校をこよなく愛され、その発展のため、すべての面にわたり、力をつくしていただいた、故鎌富清一郎氏に、心から感謝申しあげ、本校の益々の発展をお誓いするとともに、謹んで哀悼の意を表します。

私は鎌富会長就任の翌年昭和三十三年から八年間、数学担当として本校に務め、当時の石川校長をはじめ、学年主任の沢山先生など諸先輩から早く一人前になれと指導をいただいたのでした。その教師としての母校、懐しい本校の門を二十一年ぶりに再びぐるることになりました。

先日放課後、グラウンドに出ましたら、女生徒がここにきてやってきて、「校長先生、私は〇〇A子です。父が校長は必ずグラウンドに出てくるから声をかけろ、父のことはわかりますか。」と話しかけてきました。彼はわが担当学年でよく知っている生徒でした。「よくわかるよ」というと、「どんな



な生徒でしたか。」と楽しそうに聞いていました。彼の家庭がわかるような気がしました。このようなことは校外外で何度もありました。丁度次の世代が本校の生徒なのです。二世代にわたって、このような場にあることを思うとき、何か心のひきしまるものを感じています。

母校は今、今春の大学進学の結果が示すように、県内は勿論のこと、全国でも上位にあり、落着いた雰囲気のおかげで勉強に打ち込んでおります。また、クラブ活動もあらゆる分野で活発で、北海道で行われるインターハイには、陸上、フエンスィング、ボートなど二十三人が出場します。また通信制も全国定通総体に野球、陸上、剣道が活躍するなど、すばらしい成果をあげています。長きすばらしい伝統と、その時代に対応した新しいもの

との調和。これが本校の進むべき道ととらえ、自主独立をモットーに、次代を担う生徒諸君のために全力を尽くしたい

# 辞任 挨拶

前校長 鈴木 昭 二

過ぎし三月、四年間の青山での勤務を終え、同時に教職を去りました。今更のように、歳月の速き歩みを感じます。その教職の終りの四年を、すばらしい生徒や先生方と共にあったこと、また、同窓会PTA等学校を包む方々から限らないご援助とご協力をいただいたことは忘れることができません。本当に楽しく過ごさせていただきました。心から感謝申しあげます。

二年連続の県スポーツ最優秀校の表彰、ラグビー部の花園への出場、加えて大学入試の成績向上など、私にとって、どれもがこの上なくうれしい体験でした。考えてみるに、それらのことは、歴代校長先生のもと、先生方が本校の使命を体され、情熱にもえて指導に当たってこられた賜であり、又生徒の皆さんが、それにより心えた結果に他なりません。またいうまでもなく、それら

と思っております。同窓の皆様のご指導ご支援をお願いいたします。諸君のために全力を尽くしたい



は九十余年にわたる歴史・伝統の土壌から生まれているものであり、それを培ってこられた同窓の皆さんに、心から敬意を表します。かえりみるに、私など何ほどの事もできず、万般にわたり不十分であったことを深くお詫びいたします。

「戦艦大和の最期」を書いた吉田満の格調高い文章にひかれて、私は折々に氏の著作集を読むのですが、氏のいういわゆる「散華の世代」に属し、戦争で幾人かの級友や、兄弟二人をも失っている戦中派の私には、やはり氏と同じく日本の繁栄と若い人達の幸せ多きことを祈らずにはいられないの思いがあるのです。

弥彦山を仰ぎ、青く広がる蒲原の野を見るにつけ、良い国、日本を痛く感じます。そして、よりよい国にするために、将来ある生徒の皆さんが、幅も奥行もある人材に育ち、世のため人のため、大いに頑張ってくださいることを切望した

× × ×  
いのです。本校創立百年も間近に迫っており、同窓の皆様も期待も大きかろうと思えます。青山同窓会の発展と、本校生の活躍を祈ってご挨拶いたします。追記  
故鎌富同窓会長さんのご冥福を祈念いたします。

宮地先生、母校校長、おめでとついでいいます  
74回藤 田 一 巳

私達は新潟高校74回卒業生ですが、所謂戦後の第一次ベビーブームで一学年520人という大世帯でした。昨年、青山卒業20周年記念同期会を八月お盆休みを利用してイタリヤ軒で行いましたが、偶然にも30周年の先輩方と上下フロアーで一緒になり、かけもちされる先生方もいらつしやいました。学年主任の沢山先生、英語の山岸先生、国語の野呂先生、化学の中山先生、国語の遠藤先生、世界史の松沢先生、国語の岩野先生、漢文の渡辺先生、数学の宮地先生を囲んで、私達が2年生の時の昼休みにおきた新潟地震の往事等を肴に楽しい一夕を過ぎました。写真はその時のもので、

有志で先生のあいている時間を見計らって一席設けることになりました。まず何よりも驚くのは先生が当時とあまり変わりなく、若々しく、かえって20年の歳月の内に白髪が目立つ渡辺君（長岡立川病院医師）の方が囲りの人にこの方が恩師の方ですかと誤解されていたくらいでした。



クラス担任先生へ記念品贈呈の様子です。さて、私達に3年間恐怖の数学を担当された宮地先生が母校新潟高校の校長として着任されると嬉しいニュースが伝わり、激励(?)をかねて

放課後部活の様子を見に行くと、生徒から時々「校長先生、僕の父親お分りになりますか。」と質問される由、20年の歳月の内に、先生が時々学校に連れて来られていた赤ちゃんのご長男の方も今や大学生。私達同期の子供達も何人かは先生の在職中にお世話になる場合もあるかと思えます。その際は、特別によりしくお願い致します。

# 追悼 鍵富会長さん

## 純・徹

副会長 50回 上 村 光 司

「死ぬまで会長をやるよ」と言っておられたとおりになつた。「死ぬまで……」というのは、人それぞれの処生観によつて、さまざま受け取り方をされるかねない言葉だし、言うその人物の器量によつて響きが違ってくる。それをご承知のうえで、さらりと云つてのけられるというのは、やはり一つの器量だった。

こう書いても、鍵富さんに同窓会論を、ことさらに格好つけて伺つたわけでないから、私の当て推量に過ぎない。ただ鍵富さんの胸にあつた同窓会の「姿」というのは、同窓生の親睦と母校への感謝・愛情。母校のため、後輩のため、いい環境を作るのに労を惜しまない、ことに尽きるのになかつたか。

選挙になれば「有志会」の一員として、いろいろ行動された。それは同窓生に志を得させたいという願いからで、特定の利害からむもものは全くなかつた。同窓会によつ

て利益を誘導しようという動機に潔癖すぎるほどだったのは、座談の端々にも、うかがえたことである。私欲なくしてこそ、直言して容れられる、というのが折りにふれてのご感想で、鍵富さんの信条であり、自負であつたように察しられる。

同窓生の親睦に関連している、何年か前に、会費を値



# 安らかにおやすみ下さい。

会費一口金一千元（据置き）、志のある方は一口でも三口でもお願ひすることになってゐるのは、こうした経緯による。同窓会の総会にも、あまり出席していなかつた私が、齋藤希弋さんの幹事長当時、総会出席者の飛躍的拡大策を打ち出され、それにどういうわけか実行委員長役に指名された。昭和四十五年のことだつた。同期の熊木淳一郎君や筑波竜一君（52回）、早福卓君（55回）をはじめとする猛者諸君に乗せられて、小林デパート（現三越）で総会を開き、

これはスペース不足だと当時万代橋東詰めにあつたキャバレー香港を献言した。これで、ケンケンゴウゴウの事態となつたが、その経過はともかく、四十六年の総会は七五〇人余の大集会となつた。その時の鍵富さんの嬉しそうな顔だけを思い出す。香港会場からオークラホテル会場へと舞台は移つたが、各期幹事のご尽力、同窓各位のご熱意で、毎年八百人集会が続いているのは、本当に有難いことである。今年の総会を鍵富さんに見てもらひたかつた。

# 鍵富さんを偲んで

32回 小林 力 三

先般鍵富さんが亡くなられましたが、新潟は又一人大切な人を失いました。

大変強い信念で、鍵富家系統の指導者として新潟の経済界に重きをなしてきた人です。併し表に立つことが嫌いで

私は特に後輩として長年にわたつた何かと指導を載ており残念でなりません。

新潟は杉の木と男の子は育たないといわれていますが、鍵富さんの様なしんの強い教養人も育てました。表面は柔和の方でしたが、

上げてはどうかという話の出たことがある。この時も鍵富さんは「同窓会は誰でも参加できること、大勢集まること」が基本」だとされた。現在

表面は柔和の方でしたが、

ておられました。鍵富さんの世間あまり知られていない一面に、美術の造詣が非常に深かつたこととす



59年東京青山同窓会で若い頃奥様と一緒に、イギリス・フランスに長く滞在されて、その間ヨーロッパ美術の粋を大いに研究してこられた。その道の教養の深さに私は時

# 鍵富会長を偲ぶ

元校長 34回 小野塚 忠義

母校の復興は鍵富同窓会長を抜きにしては語れない。会長は、かつて私に母校炎

昭和三十年七月、鉄筋で復興建築が開始されようとしていた時、私は母校の教頭に任命された。校長は石川健四郎さん、同窓会長は長谷川寛さん、三十二年より鍵富清一郎さん、P.T.A会長は齋藤希弋さんでどなたも顔見知りの同窓で先輩、教職員の多数が昔の同僚であつた。

決心したのだ、と語つたことがある。この熱意が今日の母校の隆盛をもたらしているの

学校の復興支援態勢は同窓会、P.T.A連合の復興期成会が設立されており、母の会もできていた。鍵富、齋藤両氏

よい、いとお顔に接すること

二期工事の建築坪数を減らすことであつた。鉄材は八幡製鉄販売部長齋

はもう出来ない。悲しみの極みである。

た感ぜ入つたものです。あの融通無碍の明るい御性格は発展期のヨーロッパ文明に触れてそれを取り入れられた成果と思ひます。誰にも親切で、而も物事の判断が正確且つ公平で、本當に得難い人だつたと今更乍ら感じます。

コンビの支援は学校復興には最高、最適のものと思へた。鍵富さんが最も心を砕かれたのは第二期建築であつた。私の着任後しばらくして突然の鉄材市価暴騰により鉄筋校舎の建築が困難視され、やがて復興建築は鉄筋でという既定方針が問題となるようになった。この問題の解決のため、一日、関係者の協議会がもたれた。学校側は校長、支援団体代表、県側は県教委と土木関係者の代表者が参集した。発言はそれぞれの担当業務の立場からで、木造賛成側は予算上鉄筋は無理である。貧乏人は貧乏人らしく等である。鉄筋賛成側は新築が表は鉄筋で裏は木造というような無様な工事は出来ない、他府県人に見せられない等である。学校は教育振興上鉄筋賛成である。これらの発言に対する反駁、応酬を繰返すうち勝負は自ら決まつた。私はこの時、学校側の鍵富、齋藤両会長、石川校長の真摯な発言と態度が大きく形勢を左右したと感じたのである。決着は、学校が責任をもつて鉄材を低廉で入手すること二期工事の建築坪数を減らすことであつた。鉄材は八幡製鉄販売部長齋

# 追悼 鍵富会長さん

(前頁よりつづく)  
藤英四郎さん(同窓、現経団連会長)に建値で世話してもらった坪数減少は実行した。昭和四十一年、校長のとき、

学校の環境整備に取り組み校門を建てたのであるが、これは鍵富さんの御協力によるものである。 合掌

二月二十四日、何となく會長さんにお逢いしたくしてお訪ねしたところ、二、三日前から食欲がなく点滴をしておられるとき、早速部屋へ上ってお逢いさせて頂いたが、あのにこやかなお顔に接する。ことは出来なかった。目をとじて眠ったままの状態、声をかけても肩をたたいても何の表情も何の言葉も返らない。そしてその日の夕方ガンゼンターへ入院されたとききました。一時はおかゆも食べられる程に快復されたようですが、病に勝つことは出来ず、四月三十日早朝、遂に九十五年の生涯をとりられたとききました。三十年間お仕えて、い

ま深い悲しみを味わいつつもご立派な一生を思うとき、頭

のさがる思いがいたします。新瀉の名家に生まれ、私利私欲のないお人柄はその笑顔の如く円満で青山同窓会のシ

ンボルでした。同窓会の今日の発展は會長さんのお人柄によるものと信じております。鍵富さんは又こよなく酒を愛された方でした。酒を飲んで居られる時の嬉しそうなお顔が目につかびます。特に若い人達と一緒に飲むことを楽しんで居られたようです。59年秋、東京青山同窓会総



## 宮尾さんを偲んで

36回 樋口 均

一真院釋清寿  
ご冥福をお祈り致します。  
(事務局 岩田はす枝)

みななを愛し、みんなに愛された鍵富会長さん、再びこの世でお目にかかることは出来ませんが、あのにこやかな笑顔は同窓生一同の心の中に永遠に生き続けることとてございましょう。

対する造詣も深く、「建築は芸術なり」と言われた青山会館の建設、青陵健児の像、会津八一歌碑の建立等には特に厳しく指示されたように記憶しております。

若い頃には奥様とご一緒に英国に渡り、ヨーロッパの美術館めぐりなどをしながら美術を探究されたとききました。おしゃやれな英国紳士で芸術に

宮尾さん(旧姓中島)の計報に接し、ただ残念と申し上げる外ございません。ここ数年、心疾患で療養してはおられましたが、いつもと変りない日常生活して、ただ発作が起きますと呼吸困難となり、短期間で退院され、自宅療養をしておられましたが、次第に悪化して入院、退院を繰り返しておられましたが、この様な結果になろうとは夢にも思っておりませんでした。

五月四日金婚式のお祝いを受けた翌日、軽い発作で七度目の入院となり、そのま

や陸上競技部に入り、競技部の興隆に寄与された聞いております。後半新潟陸上競技協会会長としてスポーツ振興に活躍されたのも当然のことと思われま

出生は西蒲原郡吉田町です。が旧制新潟中学を旨指して小学校六年生の頃新潟市西大畑町に止宿し、大正十三年四月新潟中学校へ入学されました。中学校時代は比較的小柄であ

た。そこで、この40年を記念すべく東京と新潟在住の同期が中間地点である越後湯沢ニューオータニホテルに於いて記念同期会を開催することとした。

7月11日  
東京青山5455同期会  
新潟青山5455同期会  
同期幹事 今湊良敬

我々青山5455同期は、今年度新潟中学卒業の40年を迎える。卒業後初めて会う顔もあり、盛り上った一夜になりそうである。

師会長となり、数々の要職を兼ねられ、知事表彰をはじめ、幾多の表彰も受けられました。昭和五十五年戦線に参加された記録「ある飛行隊軍医の物語」を発刊しておられます。

東京の幹事は安田信託銀行の安達信吾氏と丸善から武蔵野学院短大図書館長に転じた中村幹男氏の両氏である。

この機会に終戦直後混乱期の中で卒業から今日に至るまでの苦勞を語り合い、又慰め合い、これからの人生を如何に生きるかなど情報交換もして、一夜中語り明かす予定である。

この機会に終戦直後混乱期の中で卒業から今日に至るまでの苦勞を語り合い、又慰め合い、これからの人生を如何に生きるかなど情報交換もして、一夜中語り明かす予定である。

ここに宮尾さんの略歴を記し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

昭和62年度 異動一覧

転出	全日制	校長 鈴木昭二	退職
教諭	横山貞雄	高橋 務	加茂高
石田修治	新瀉田南高	入田年夫	中条 教頭
小野島忠次	津南高	通信制	
教諭	田宮敬子	小島勝彦	退職
山本虎男	湯浅輝子	鈴木由美	新瀉江南
後藤隆行	村山敬真	皆川喜代弘	新瀉高校
全日制	校長 宮地正樹	澤村教育委員長	
小杉栄一	巻高	皆川喜代弘	新瀉高
皆川喜代弘	新瀉高	岡村卓二	新瀉南高
村田慶朗	黒崎高	藤岡善思	巻高
石黒勝則	瀛垂高	通信制	
教諭	五反田時	新瀉田高	
高野 晃	吉田義禎	小川トモエ	新瀉南高
中沢ひとみ	村松高	中戸義文	西越高
志賀由紀夫	荒川高	稲葉 明	高志高
吉田 豊	吉田義禎		



### 海上保安庁の 観閲式を見学して

59回幹事 伊 佐 修

昨年6月14日付の運輸省の発令に基づき、我が59期の栗林真一君が海上保安庁長官に就任されたことは、同窓各位におかれましては、ご承知の事と存じます。ご本人はもとより我々同期生と致しましても誠に喜ばしく、この上ない誇りに感じております。

海上保安庁では、毎年開庁記念行事の一環として観閲式並びに総合訓練が東京湾で行なわれます。

### 渡辺秀英先生を囲んで 白楽天「長恨歌」勉強会

60回 小林 亨

6月27日、篠田別館で、60回有志と婦人を交えた同好の白楽天「長恨歌」の勉強会が行なわれました。東京からも池浦高野、高城3君の参加があり、30余人の盛会でした。



われませんが、今年は栗林長官からのお招きがあり、我々59期の希望者を募り、5月17日新潟・東京在住合せて20名で見学に行ってきました。

旗艦(みうら)五千屯艦を先頭に(おおすみ) (うらが)を従え、羽田沖合に集結した海上保安庁の船艇及び航空機の観閲から始まり、タンカーからの油防除、及び消防救助、海上でのヘリによる人命救助、編隊飛行、船隊運動等、めま



団長の名講演

先生の授業と違い、3回にわたる中国旅行に裏付けられた講義だけに、玄宗と楊貴妃の悲しい愛の物語も、現地の風物が目の前に浮かぶような一時間半でした。学生時代もこのように熱心に聞いてくれたらと、先生に頭をナデラレルこともなく、この歳になったから理解できたのかと、改めて年令を感じさせられた楽しい夕べでした。

今年も9月12日から9日間



団長先生を団長にして、北京・安陽(殷墟)・洛陽(三國志の舞台)・西安(十一代の歴代王朝の都)で中国史・漢詞の勉強をしようという企画があり

### 青山六三会 特別大会の記

お教えいただいた先生方の中で、一人母校に残っておられた横山先生が、ついに退職されるという事で、急速特別大会。沢山・菅原先生も出席下さり、又、先年卒業三十周年記念大会に欠席だった二階堂、原、福住、三君の初出席(つまり卒業以来三十二年振り)もあって大変盛会であつた。

先生方へ記念品、そして横山先生へは卒業時担任のG組の面々からの特別の記念品をお贈りし、新しい人生の門出をお祝ひした。先生方の一層の御健祥をお祈り致します。青山同窓会会誌杯コンペ優勝は上村光司氏



昨年から始まった同好有志によるゴルフコンペは七月二日紫雲で、第三回目が開催された。朝来の雨も上がり、晴天の始球式でスタート。新ペリア方式で頼まれ、優勝は上村光司氏50回、準優勝は忠昭男氏64回でした。表彰式の席上で、次回は九月二十四日(木)紫雲に於て、第四回コンペを行う事に決定。詳細問合せは母校事務局迄乞、各期多数のご参加を。

### ハイティーン水泳新中・新高⑩

60回 平田 大 六

### 19 プールがあればこそ

「いまのように、小学校から高校まで、ほとんどプールのある時代だったら、オマエは勝てなかったんじゃないの」と最近いわれたことがある。これにはまいった。たしかにそうだ。たとえば、ゴルフだって日本中の人が皆でやったら、もつとうまい人がでて来るかも知れない。だれもかも、絵かきになったら、もつと上手な人がいるはずだ。総理大臣だってそうだし、歌手でも云い得る。もつと飛躍するなら結婚相手を選ぶのだからってそうなる。

私は、ふりかえってみる。あの頃、プールを持っていた高校は………と、北から想い出してみると、まず村上高校。新発田になくて、母校の新潟高校は私の生れた昭和八年にプールを作った。それに新潟商業。そのころが、あとで私の青春の一部を左右するのだが、新潟中央高校にはなかった。長岡は長岡高校。高田高校のは立派なプールだった。

水面が高くなるようなオーバードローが設計されてあつた。このプールは泳ぎ易かった。柏崎では各高校の水泳部が五十米の八坂プールで混浴していた。佐渡にはあつた。ざつとこんな程度である。「海があるところは有利でしょう。これもよく云われるけど、そうではない。海や川では話にならないのだ。かつて能生水産の水泳部の選手が、県大会に初出場した事を覚えてる。日に焼けた頑丈な体格の能生水産高の選手は速そうに見えた。しかしこの人気は入水直前までだった。スタットして最初の折り返しを過ぎて、たちまち、プールの選手たちにつかまり、あとは、しびきをかけられながら予選で散っていった。シーズン中の海や川での水泳は、私たち「プロ」の選手には、かたく、かたく禁じられていた。このことは、あとで詳しく書くことにしている。(次回につづく)

# 画人笠原輓と

## その父漁村(十一)

60回 小林 智明

桜井天壇や小黒太白、会津八朔郎(八一)、式場麻青らの先輩は、後輩の輓にとつては、中学在学時からずつと後年に至るまで、文学や美術など、あらゆる面に於ていろいろな影響を受けた人達である。

天壇は小黒太白の一年後輩で、『中学生時代の思い出』という文で、太白のことを次のように書いています。……英語の事を云えば私は小黒猶一君に多くの感謝すべき事があります。同君の四年私の三年の折始めて友人の紹介で交誼を願つたのです。其は私が級中唯一の文学志望であり同君が矢張級中唯一の文学志望と聞いて日頃なつかしく思い、且つ同君が漢文や英語に頭角を抜んで居られるのを知り、丁度其頃私がアーギングのスケッチブックを読み、其美に魅せられながらも処々難解の点があるのに閉口してはいたものですから、同君をお訪ねして不審をただしたのです。始めての日はウエストミンスタアペーの中を質問したと覚えています。会つて見ると英語は愚か、漢詩なども立派なものが出来ているし、新体詩もうまいものです。其に俠気あり同情ある人物なので私は心から敬服して兄事したのであります。私も漢詩は前から「幼学便覧」だの「詩語粹金」だのを虎の巻として独力でやつてはいたが太白君のを見るに及んで之ではならぬと奮発し、急に或人を介して五峯坂口仁一郎先生に斧正を乞ひ絶句と七律とを少し稽古しました。新潟新聞の詩藻欄にでも載せられると、鬼の首でも取つたように喜んだものです。其に五峯先生おだてる事が上手で、陳碧城に似たりとか何とか云う評語を書かれるものですから益々得意がって来たのです。だんだん凶に乗って「文庫」と云う当時の青年雑誌に自ら進んで漢詩を投書した

事もありました。尤も「文庫」には時々論文を出していましたが「萬葉集私観」と云う一文は太白君に賞められたものです。私は善き先輩を有する点に於ても幸福でした……」

輓は中学四年頃から、太白、八朔郎、大虚(長谷川徹)らよりホトトギス派の影響を受け、播糸の二階や、善導寺などで開汁をすすつて句会をやつたりしたが、残念ながらこの頃の輓の句として残っているものは今のところ見当たらない。

昭和九年刊の『新潟市史』の俳諧の部をひもとくと、その頃の新潟の俳壇について次のように知ることが出来る。……子規門高浜虚子とはとぎす派を起して師伝を継承し、内藤鳴雪ら之を輔け、同じく子規門河東碧梧桐は明治四十一年新傾向論を提唱し大正四年に至り海紅派を起せり。後に子規系の萩原井泉水出でて層雲派を創め、その他紅葉の秋声会、酒竹の筑波会に属するもの等、明治の末葉より大正に至るの俳壇は新説簇出して多岐多様綱綱眼を奪ふものあり。本地の新派俳人として知らるるも其数多しと雖も、就中八朔郎(会津)太虚(長谷川)太白(小黒)はほととぎす派に属し、白天郎(薄田)赤色煙(近藤)は新傾向時代の作家として知られ、絶頂(西村)海灯(田中)は海紅派に属する詩人なり。……と見える。右の文中の白天郎は、輓と同級生であり親友の薄田長太郎である。白天郎は新潟に於ける俳人として知られた人で、俳画をよくしたと伝えられているが早世した。

年が明けて明治三十六年(一九〇三)はいよいよ輓が新潟中学校卒業の年である。三月三十一日の卒業式にもようを、遊方会雑誌第十三号の記事によりうかがつてみよう。

◎第十回卒業証書授与式 明治三十六年三月三十一日 日本校講堂に於て第十回卒業式を挙行せらる。午前十時第一喇叭の吹奏にて生徒一同式場に入り着席す。問もなく本校教職員諸氏整然として入場せらる。やがて再度の喇叭は来賓諸氏の入場を促し、本校々長の先導にて田中書記官、奥野検事正

萩野市長以下県議員、市教育委員、土木監督署員、各学校教育員、新聞記者、卒業生の父兄等数十名臨場せられぬ。先ず多田校長の勅語奉読あり、次で卒業証書授与に移り、山田書記の呼名の下に各卒業生諸氏は威儀端然動せず騒がず、いとも沈着に順次校長よりして証書を受けらる。終りて各学年総代一名づつ出陣、修業証書を受く、授与の全く終りし後、校長は卒業生諸氏に向ひ懇切なる訓戒を与へられ、語を転じて来賓諸氏に本年卒業生の前途の方針を報告し降壇せらる。次に県知事代理として田中書記官の登壇、卒業生諸氏に告ぐるに、前途遼遠任務愈々重大なれば幸に小成に安



「信濃川」 渡辺(笠原)輓 画 遊方会雑誌 第19号(明治39年)より

と来賓の知事代理の祝詞の中にも、軍人志望をすすめる言葉が見えるように、軍力増強の事局が感じられるものであった。

日清戦争の勝利によって、明治二十八年の講和条約の結果、遼東半島と台湾が日本の領土となったが、露、独、仏から世に云う三國干渉の物言いがつき、血を流して獲得した遼東半島の領有を止むなく放棄した日本は、臥薪嘗胆してその後の露国の南下政策に脅威を抱き対立した。明治三十一年には大連と旅順が露国の租借となり、昨三十五年にはシベリヤ鉄道が完成して露の極東進出への大動脈が貫通した。昨年冬の青森の八甲田山に於ける死の雪中行軍なども、そんな時代に備えての日本陸軍の非劇の事件であった。

また、この年の五月には一高の学生藤村操が、「巖頭之感」を書き記して日光華嚴の滝に投身自殺をして世間を驚かせた。同じ年頃のこの青年が起した事件は、中学を卒業した輓ら若者たちの胸にも、いろいろな波紋を投げかけたものと思われる。

卒業の年であると同時に、上級学校への進学の間でもあった訳だが、この春に輓がめざした学校は東京美術学校であったのか、或いは兄の後を追つての金沢の四高であったのか、それとも別の学校であったのか、それが不首尾に終わったものか、はたまたま別の事情に由つたものかは今のところ判明しないが、とにかく輓は代用教員などをして一年間浪人の末、翌明治三十七年四月、東京美術学校洋画科本科に入學した。しかしながらその間に、何らかの点に於て父の漁村とくい違ひがあつたらしいことは想像できるのである。真面目で厳格な父漁村としては、兄の後を追わせて四高をすすめたか、或いは当時の風潮として軍人をすすめたかそれは今は判らないが、ただ前述した「発心の屠龍が面や今朝の秋」の句は、親しい級友が中学五年秋の輓の横顔を暗示的に詠んでいるような気がしてならないのである。(次号につづく)

# 「母校ではいま……」

### ○新入生が一クラス増える

昭和62年度は、時代の要請により新入生が一クラス増の四九五名、11クラス編成となりました。思いおこせば、本校舎が火災に見舞われた後一学年8クラス規模で現在の校舎が建てられましたのでこの度のクラス増で施設的にやや窮屈な観は否めませんが、「多ければ、それだけ楽し」ということで一学期を過ぎてきました。青陵祭では、一年十一組は、六連合に加わり、六連合は見事総合優勝しました。○生徒会会長・副会長とも女

### ○生徒が就任

英国のサッチャー首相、社会党の土井たか子委員長にならったという訳でもないのですが、母校でも女性パワーが進出。本年度前期会長に諫山えりかさん、副会長に樋口貴子さんが選ばれました。両方とも女子が選出されたのは生徒会の歴史上初めてですが、青陵祭という大きな行事の企画、運営の陣頭指揮にあたり、青陵祭の成功に大きな貢献をしました。男子の奮気を期待する声も高まっています。(69回 杉倉浩)

## 61年度 主な大学合格者数

(旧卒者も含む) 内の数字は前年実績比

〈国立大〉		〈私立大〉	
新潟	158(+4)	早慶	47(-4)
岡山	3(+3)	稲	27(+7)
技術	5(-8)	應	32(+4)
海	27(-3)	義	28(+6)
北	12(+10)	田	11(-3)
東	2(±0)	塾	10(3)
山	10(-7)	央	17(7)
千	9(+7)	治	17(11)
東	5(-7)	教	31(+1)
東	8(-3)	政	15(+6)
東	5(±0)	智	5(+1)
京	4(+2)	本	1(-11)
京	18(+3)	院	10(+9)
外	19(+15)	院	8(+1)
学	4(+2)	子	6(-6)
工	8(+7)	塾	7(-1)
外	5(+3)	協	1(+2)
通	6(-8)	川	3(+7)
国	11(+18)	海	4(+7)
信	2(+1)	社	9(+)
立	2(-1)	志	
沢	5(+4)	命	
州	396(+66)	他	383(-79)
馬			
玉			
波			
屋			
都			
子			
濟			
術			
合			

旧帝大合格76名史上初の快挙  
62年度入試を終えて  
国立大複数受験の初年度  
現・浪合わせて76名が旧帝大に合格したが、現役勢がその半数を占め、善戦した。  
東北大27名(現役17)、京大21名(10)、名古屋大11名(8)、東京大10名(5)、北海道大5名(2)、大阪大2名(その内訳である。  
また地元新潟大合格者は158名と昨年度を上まわる数であった。

## 北信越で優勝 私に喜びを与えた フェンシング

インターハイ予選の個人戦で、「たった一本差でインターハイの出場権が得られなかった。しかし、北信越大会の出場権は得られたため、その大会が自分にとって最後の個人戦になった。  
高校に入ってフェンシングを始め、既に二年と少しが過ぎた。その間、決して順調だったわけではなかった。入部後まもなく、練習の負担が膝にかかりすぎたため、膝に水が溜まった。また、足の指の骨にヒビがはいるということが起り、病院通いのために練習のメニューをこなせない日が続いた。

その後、試合に出るようになってからも、大会直前に風邪を引くなどして、体調を整えられず、一回戦或いは二回戦で敗退することが二年の秋まで続いた。ようやく今年に入ってから一つのきっかけができた。これが自分のフェンシングの大きな自信につながり、今年の大会では、コンディションが悪くとも決勝まで残れるようになった。  
北信越大会当日、体調はベスト。気温もインターハイ予選時の三十二度に比べて二十度強。この大会は上の大会に

はつながらないために、プレッシャーも感じなかった。試合が始まった。第一試合は緊張して、訳も分からないまま進行した。唯一確かだったことは、相手のスピードがとて速く、自分はその動きについていけなかったことだった。今までに経験したことのないスピード。だが、相手のミスに救われて、なんとか勝つことができた。この試合の後に審判が、「新潟県は、独得なフェンシングをする。」と言っていた。確かにスピード負けはしていたのだが、その「独特なフェンシング」が幸いしたのか、一回戦リーグをなんとか突破することができた。

試合回数を重ねるにつれ、相手のスピードにも慣れてきた。また、相手のスピードに対し、自分はタイミングで対抗した。決勝リーグまで順調に勝ち進んでいった。そして決勝。少しは苦戦したが、最後は自分の最も得意とするスピード技で優勝を決めた。県大会で優勝した時の何十倍もうれしかった。  
フェンシングをして、勝つ喜びを与えられた。フェンシングをして、本当に良かったと思う。(3年 松本 永)

鈴木昭二前校長先生は、退職に当り、青陵祭の健全な発展のために、青陵祭の優勝旗、準優勝旗を寄贈されました。本年度の青陵祭(六月十四日)で優勝旗を手にしたのは六連合、準優勝旗を手にしたのは八連合。今後とも青陵健児の志気を高めてくれることが期待されています。

本校は九十五年を歩み、昭和六十七年には、いよいよ百周年を迎えます。  
校内ではすでに、百周年に向けて準備委員会を発足させました。青山会館の資料室の整理、さらに校長室等に保存されている貴重な資料、物品について調査を進めていきたいと思います。  
つきましては、「遊方會雑誌」芝罘等について、欠けているものがあります。  
「遊方會雑誌」  
一・二・三・四・五・六・十四・二十・二十七・三十三・三十四・三十六・四十二・四

## 創立百周年に向けて 資料の提供を!

これについては「三・六・八号」のみが保存されているだけです。  
まことに恐縮に存じますが、欠本及びこの間の事情(昭和十三年に「遊方會雑誌第四十九号」が発行されて以降、生徒会誌「青陵」の発刊された昭和二十九年まで)についてお持ち合わせの方、ご存知の方からは非お力添えを賜わりたく、事務局までご意見・ご感想をお聞かせくださるようお願い申し上げます。

優勝旗、準優勝旗 寄贈



現役の活躍

各種大会成績

地区大会  
陸上 110日①長岡拓馬②茂木浩介 ③兼田拓弥五千米競歩  
①高山隆夫 走巾跳①志田哲也 400m①金子佳賢 女子100  
H③浦井美穂子  
軟式庭球 男子団体①個人②加藤・加藤組  
卓球 男子団体③  
ラグビー ①  
レスリング 48kg③草野 誠  
硬式庭球 W③鈴木・杉山組  
S③鈴木 周  
空手 男子団体組手③女子個人組手③渡辺恵美  
県総合体育大会  
水泳 200m平③阿部政樹

軟式庭球 男子団体ベスト8  
バドミントン 団体③  
柔道 中量級②渡辺久雄  
剣道 男子団体ベスト8  
レスリング 52kg③田沢進一  
70kg③金子真也  
フェンシング 男子団体①  
個人男フルール①塚田直史、  
①松本 永 エベ②塚田直史、  
サーブル④小林修司 女子団体③  
個人女フルール④円山里子  
ポート 男子団体① ナックルフォア① 舵手付フォア①  
シングルスカル① 女子団体②  
② ナックルフォア②  
囲碁 全国高校囲碁選手権県予選女個人①杉倉慶子



北信越大会  
ラグビー ③  
フェンシング 男子団体③ 男子個人フルール①松本 永  
ポート 男ナックルフォア決勝⑥(数字は順位)

青陵祭優勝旗授与

昭和61年度 ラグビー部花園会計収支決算書

昨年に引き続きご協力をいただき、大変ありがとうございました。お礼申し上げます。

1. 収入の部

項目	金額	収入額
1 寄附金	9,578,712円	
2 助成金	350,000円	
3 雑収入	86,385円	
合計		9,932,011円

2. 支出の部

項目	支出額
1 選手等大会参加費	3,513,623円
(1)強化合宿費	243,167円
(2)選手等輸送費	163,380円
(3)選手等滞在費	1,414,036円
(4)用具費	1,680,040円
(5)大会参加料	13,000円
2 応援団派遣費	1,147,940円
(1)団員等輸送費	1,111,640円
(2)人場料等	36,300円
3 広告費	65,000円
4 事務費	481,510円
5 雑費	13,500円
合計	5,221,573円

収入額 9,932,011円 - 支出額 5,221,573円  
= 残額 4,710,438円

昭和62年5月8日  
上記の通り相違ないことを確認致します。

● 編集後記 ●

★同窓会にとって、正に象徴ともいえる鍵富清一朗会長がご逝去になりました。今号では、ゆかりの方々に追悼の記をお願いし、又、告別式に奉げられた弔辞をご覧いただきました。それぞれの文章の中に鍵富さんの人柄が、にじみ出ており、今さらながら、その偉大さに感じ入った次第です。心から冥福をお祈りいたします。

★今年三月分をもって、鈴木昭二先生が、校長を退職され、新たに県より宮地正樹先生を校長にお迎えしました。お一方にはそれぞれごあいさつをいただきました。

★例年、夏の会報には各期の会合報告が少なく、その分、寄稿等が多くなるのですが、今年には会合予告の記事等のお知らせもありました。時間的に間に合えばどうぞご利用下さい。

★48回の中山真氏が北越銀行の頭取に、又51回の坂之上啓氏が中央信託銀行の社長にそれぞれ就任されました。同期の方から、事務局への電話報告でした。毎年の総会の頃は又、各会社等の総会、及び人事異動の季節です。今後こ

ういうニュースは簡単に一覽できる様に掲載したらとの要望もありました。何分、事務局、編集部取材機能は限られております。又、本人からは云いにくいと思っております。それぞれ同期を中心とした会員からのご報告に待ちたいと思います。

★「母校では今」ということで学内ニュースを校内幹事にまとめてもらいました。後輩達も、各方面で活躍し文武両道で名を挙げている様子はうれしいことです。ラグビーの連続花園出場では又々お世話になりました。決算書を報告にかえてご覧いただきます。

★総会に若い同窓生の出席を期すにはどうしたらよいか、いつも実行委員会の話題になります。そして又、総会の内容についても頭を悩ます事が多いものです。同窓会に対してのご要望、提案などもご寄稿いただきたいと思います。お待ちしております。

★最後に、会報の紙面づくりへのご協力をお願いいたします。限られた紙面をより楽しくする様、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

昭和61年度 青山同窓会費納入者追加分

(1月より3月までに納入のもの)

(郵便振替口座 新潟5-4455青山同窓会)  
(第四銀行学校町支店口座 0275210青山同窓会)

会費納入のお願い  
年会費 1口 1,000円  
できるだけ1人2口以上でお願いします。  
納入先 新年会・総合の会場  
又は母校同窓会事務局へ

期	氏名	期	氏名	期	氏名	期	氏名	期	氏名	期	氏名	期	氏名
29	石重 郎	池主 修	衛夫 誠	省城 文	明紀 一	昌正 輝	田藤 隆	誠陽 剛	一吾 一	通輔 彦	平雄 明	71	山原 博
31	佐藤 彦	志石 八	志石 誠	谷正 正	正 輝	藤藤 隆	高橋 剛	陽剛 義	一 満	成元 彦	三枝 孝	72	下原 一
32	中原 彦	志石 十	石大 八	谷正 正	正 輝	藤藤 隆	高橋 剛	陽剛 義	一 満	成元 彦	三枝 孝	73	山原 博
35	曾我 彦	志石 十	石大 八	谷正 正	正 輝	藤藤 隆	高橋 剛	陽剛 義	一 満	成元 彦	三枝 孝	74	山原 博
36	小出 彦	志石 十	石大 八	谷正 正	正 輝	藤藤 隆	高橋 剛	陽剛 義	一 満	成元 彦	三枝 孝	75	山原 博
38	藤原 彦	志石 十	石大 八	谷正 正	正 輝	藤藤 隆	高橋 剛	陽剛 義	一 満	成元 彦	三枝 孝	76	山原 博
39	藤原 彦	志石 十	石大 八	谷正 正	正 輝	藤藤 隆	高橋 剛	陽剛 義	一 満	成元 彦	三枝 孝	77	山原 博
41	藤原 彦	志石 十	石大 八	谷正 正	正 輝	藤藤 隆	高橋 剛	陽剛 義	一 満	成元 彦	三枝 孝	78	山原 博
42	藤原 彦	志石 十	石大 八	谷正 正	正 輝	藤藤 隆	高橋 剛	陽剛 義	一 満	成元 彦	三枝 孝	79	山原 博
43	藤原 彦	志石 十	石大 八	谷正 正	正 輝	藤藤 隆	高橋 剛	陽剛 義	一 満	成元 彦	三枝 孝	80	山原 博
45	藤原 彦	志石 十	石大 八	谷正 正	正 輝	藤藤 隆	高橋 剛	陽剛 義	一 満	成元 彦	三枝 孝	81	山原 博

通信制 97名